

## 第91回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事録

I 日 時 令和4年3月16日（水）14時00分～17時30分

II 場 所 大会議室、オンライン（Zoom）

### III 出席者

- ・学外委員：荒川早月、川村恒明、北原保雄、小林武弘、齋藤佐和、藤島省太、竹下義樹、森戸久雄の各委員
- ・学内委員：石原保志（議長）、坂本淳一、四日市章、長島一道、内藤一郎、坂尻正次、谷貴幸、加藤一夫、佐藤正幸の各委員

#### 欠席者

- ・学外委員：石井靖乃、石野富志三郎、大熊由紀子、木村利男、宍戸和成の各委員
- ・学内委員：なし

#### 陪席者

- ・大島慎子監事、竹内啓博監事

### IV 議 事

#### 1 前回議事録の確認について

議長から資料1により、第89回及び第90回の議事録について説明があり、案のとおり確認された。続いて、議長から、審議及び報告時間を確保することを目的として、議事の順番を入れ替え、「審議事項（1）将来構想」を最後の議事としたい旨の提案があり、了承された。

#### 2 審議事項

##### （2）令和4年度筑波技術大学予算（案）について

坂本理事から、資料3-1～3-3に基づき、令和4年度筑波技術大学予算（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

#### （主な意見）

- 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」について、研究に係る配分指標の順位が低い。他の配分指標も含めて、改善のための対策を講じてほしい。

##### （3）人事・給与関係規則等の一部改正について

事務局から、資料4に基づき、人事・給与関係規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

##### （4）「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」の改正等を踏まえた学内規則等の一部改正について

事務局から、資料5に基づき、人事・給与関係規則等の一部改正について説明があ

り、審議の結果、原案どおり承認された。

(5) 首都圏新都市鉄道株式会社との連携協定の締結について

内藤副学長及び事務局から、資料6-1～6-4に基づき、首都圏新都市鉄道株式会社との連携協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(6) その他

特になし。

### 3 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について

学長から、資料7に基づき、新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について報告があった。

(2) 一般財団法人日本財団電話リレーサービスとの覚書の締結について

事務局から、資料8に基づき、一般財団法人日本財団電話リレーサービスとの覚書の締結について報告があった。

(3) 令和3年度卒業者・修了者について

事務局から、資料9-1～9-2に基づき、令和3年度卒業者・修了者について報告があった。

(4) 令和4年度入学者選抜実施状況について

事務局から、資料10-1～10-2に基づき、令和4年度入学者選抜実施状況について報告があった。

(5) 令和3年度障害学生支援大学長連絡会議報告について

事務局から、資料11に基づき、令和3年度障害学生支援大学長連絡会議報告について報告があった。

(6) その他

特になし。

### 4 審議事項

(1) 将来構想について

学長及び坂本理事から、資料2-1～3に学部等連携課程の設置及び保健学科の改革について説明があり、意見交換を行った結果、学外委員から出された意見を参考として更に検討の上、申請の準備を進めることで了承された。

(主な意見)

**【学部等連携課程の設置について】**

- 「ダイバーシティ社会創成」という学問を教えられる教員組織を整備することが重要であり、現状の体制で果たして十分なのか。
- 「ダイバーシティ」の受けとめ方はいろいろあるだろうが、視覚・聴覚障害者からみたダイバーシティ、当事者の側に立ったダイバーシティという考え方が重要ではないか。
- これまでも指摘したが、カリキュラムの内容が「工学」に偏っている。社会構造を理解し、その仕組みを作っていくという人材を養成するのであれば、社会科学系の教員は必須なのではないか。
- 企業が求めているもの、企業が向かうべき方向性としての多様性について、理解することが重要ではないか。
- ダイバーシティという名称と受入対象は視覚障害者のみという実態が合っていないのではないか。この名称で設置するのであれば、障害のない学生を受け入れることにしてはどうなのか。このままで果たして受験生を確保できるのか。

**【保健学科の改革について】**

- 社会のニーズを考えるとこののであれば、鍼灸という分野が本当に求められているものなのか、真剣に考えるべき時が来ているのではないか。国家資格取得のための100単位が厳然としてある上で、さらに本学として付け加えるものがあるのか。これ以上コースを細分化してももう意味がないのではないか。
- 真にリーダーシップをとれる人材、世の中でその人がどれくらい役に立っているかがわかるような人材を輩出することが本学の役割ではないか。

(2) その他  
特になし。

以上